

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会ニュースVOL. 68

発行人神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長岩本邦雄
編集同上広報部会 HP:<http://w01.tp1.jp/~a368318200/>
発行所同上事務局〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
TEL & FAX 045-751-1010



やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催
本人活動支援事業

本人・支援者研修会

やまゆり知的障害者サポート協会では、平成28年1月25日(月)神奈川県社会福祉会館に於いて「「みんなで見える見るプログラム」を体験しよう」をテーマに「本人・支援者研修会が開催されました

講師・解説・進行…

明星大学人文学部
福祉実践学科教授
吉川かおり氏

総合司会…

サポート協会事業推進委員
愛名やまゆり園
永野 祐司氏

この研修会はやまゆり事業推進委員会の企画により、明星大学の吉川かおり教授を講師にお招きして行われた。研修会には障害のある当事者、施設職員・家族及びボランティアなど約70名が参加し、全員の発言を得て、午後3時に終了した。

研修会の概要

始めに吉川かおり教授からこのプログラムの狙いや進め方について説明があり、順次方法の解説をしていただきながらワークショップが進めら



れた。

◎研修会のねらい

◆この研修会のプログラムは、知的障害者の意思決定支援のために開発されたもので、背

景にある考え方は、「あなたはあるあなたであっていい。(OK)」「あなたには価値がある。」というメッセージを障害者本人にどうやって伝えるか?

◆また、周囲の人が自身の「障害者像」を点検してみる必要がある。ということとあります。

◆ワークショップでは、自分のこれからの夢や可能性を見つけ、自分の障害について考えたりします。参加されるみなさんが、ゲームやクイズを通して楽しく学ぶことです。

◎研修会を進めるに当たってのルール

声をだして読みましょう。
みんなを守ると、とても良いワークショップになります。
1. みんなで作る会にしましょう。

2. たくさん話してください。でも、自分だけ話すのではなく他の人の話も聞きましょう。

3. 他の人の立場や考え方を受け入れましょう。

4. 自分と他の人に共通する点を探しましょう。

5. わからないときや、質問があるときは、「黄色のカード」を出しましょう。

6. 失敗は誰にでもあるものです。みんなの前では、責めないで、後でこっそり注意しましょう。

7. ここで聞いたことは、他の人に話さないでください。自分のことは話しても大丈夫

8. 怒りまくる、人にひどいことを言う、勧誘するなど、人に迷惑をかけることはしないでください。

9. つらい話題のときは無理をしないでください。つらくなったら、一人になれる部屋「静かの間」を使ってください。

これを守ると楽しくなりますよ。

ワークショップ1
 ◎「○×クイズ」
 参加者全員が自分の考え方や行動について考え、○×の旗をあげる。



1. バイクの免許を取れるのは18歳からである。
 答えは×
2. 16歳から取得できる。選挙の投票は18歳になればいける。
 答えは○
3. 現在は20歳、国会で18歳に下げよう検討している。ダウン症は知的障害で

ある。
 答えは○
 ダウン症以外の障害について、本人(障害者)に聞いたところ、自閉症、聴覚障害、発達障害、精神障害等と答えた。

4. 知的障害は治せる。
 答えは×
 治せない、ただし、感情コントロールは治せることもある。
5. 20歳を過ぎてから、お父さんと娘、またはお母さんと息子で、お風呂に入つてよい。
 答えは×
 お風呂は男の人同士、女の人同士で入りましょう。
6. 彼氏・彼女がいるのに他に好きな人ができたらアタックしてよい。
 答えは△
 良くないとの返事が多く、ストーリーカーになるとの注意発言あり。

7. 障害のある人は結婚できる。
 答えは○
 結婚はだれでもできる。規制はない。
8. 結婚や子育てに支援が必要な人は、障害のある人

だけである。
 答えは×
 誰でも支援は受けられる。9. 障害のある人は、仕事につくことができる。
 答えは○
 誰でも仕事につく権利がある。

10. 仕事に就くために支援が必要な人は、障害のある人だけである。
 答えは×
 全ての人が支援を受けられる。

◎×クイズで正解者に対し、金メダル、銀メダル、銅メダルが贈られ、本人(障害者)は首にかけてもらい、非常に喜んでいました。

◎私の歴史

1. 学校に行く前
 2. 学校に通っていた時
 3. 学校を卒業してから
 4. いま
- 6名編成の10グループに分かれ、グループ内で、各人は24種類の顔表情の絵を使い、テーマの各番号のところに貼る。

その絵をグループの皆さんに示しながら、自分の過去から現在までの過ごし方の話しをする。

楽しい思い出、嫌な思い出などもあり、最初は話しづらそうだったが、皆に聞いてもらうことにより吹っ切れた感があった。

◎サイコロトーク

(あなたはどんな人間?)
 大きなサイコロの目に、「家族」「仕事」「余暇」「友達」「障害」「夢」の6項目が書かれている。別に、このサイコロの目と同じ6項目ごとに、その項目に関連する10個の計60枚の質問カードが用意される。

サイコロを振った人は、目に出た項目の質問カード10枚のなかから1枚を引き、そのカードに書いてある質問を読み、皆の前で答えを発表する。
 グループ全員が拍手で応える。
 グループ全員が順番に発表する。
 このトークはゲーム感覚

で、「○さんの夢は」、「△さんの趣味は」、「自分の障害は」等、自分が日頃感じている気持ちを話すワークです。

◎ほめ言葉リストを作ろう

人や自分をほめる言葉をみんなで作ろう。ホワイトボードに書く。

- 例
 前より素敵になった
 やさしい
 大人になった
 カッコいい
 かわいい
 頼りになる 等
 一番好きな言葉を選択し、グループ内で発表した。
 以上

参加家族の感想

◆各グループ数名の方々の結果発表があり、大変盛り上がりがあった研修会でした。
 ◆終わったあと、本人(障害者)が非常に楽しく一日を過ごせたことで満足した表情をしており、今後このような研修会を続けて頂きたいと感じました。